

Festool GmbH  
Wertstraße 20  
D-73240 Wendlingen  
Tel.: 07024/804-0  
Fax: 07024/804-20608  
<http://www.festool.com>

# FESTOOL

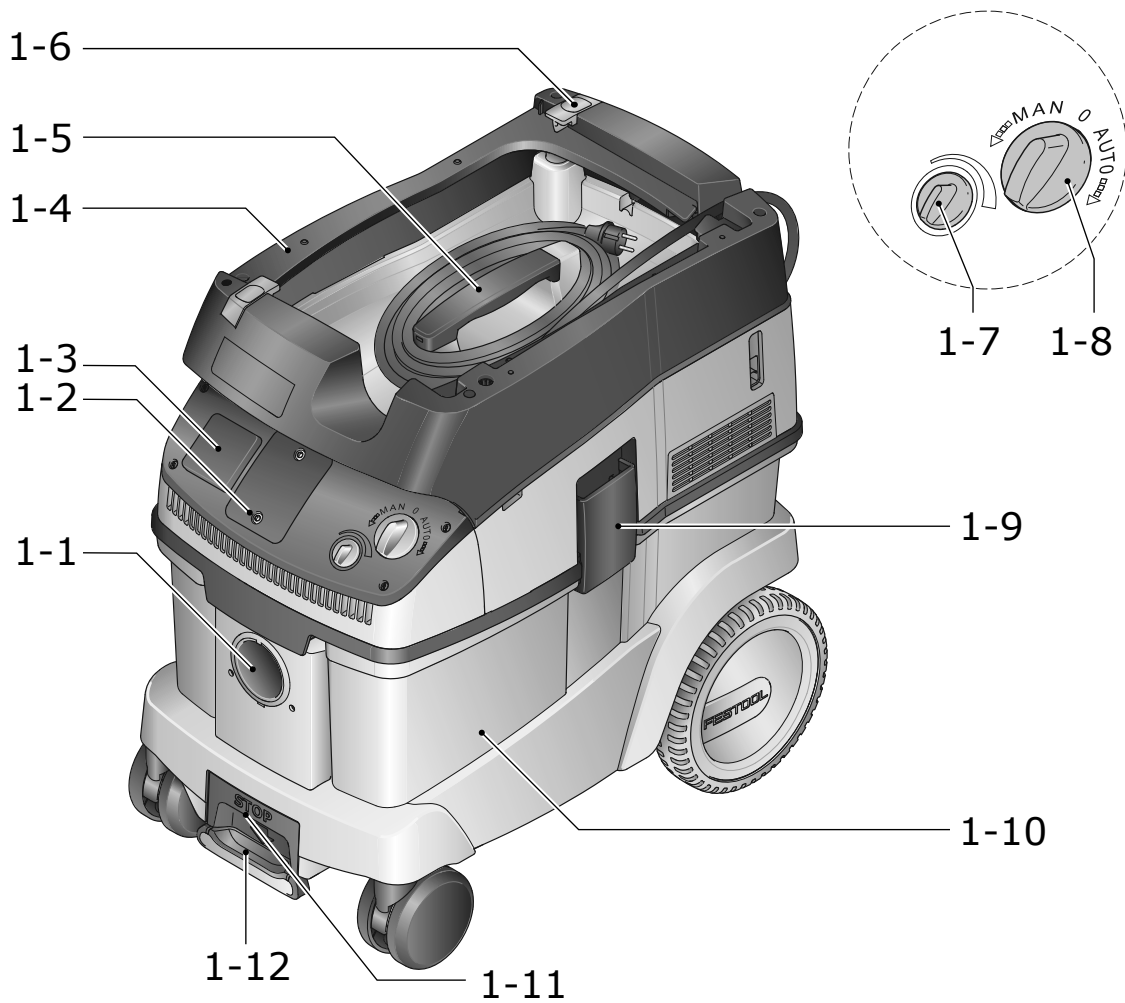
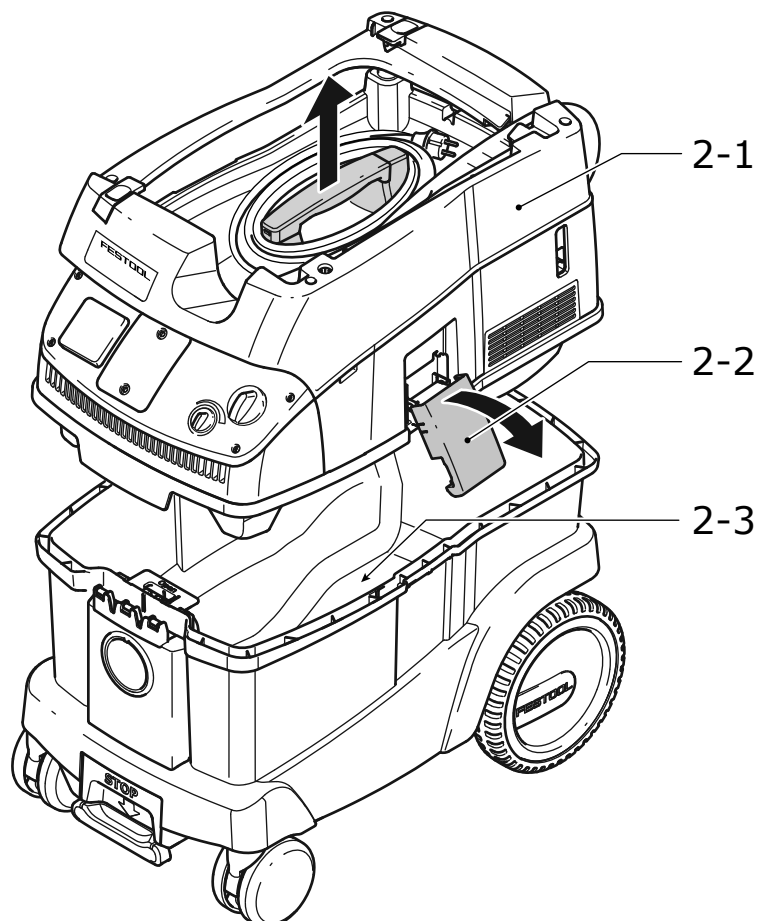
CTL 26 E  
CTL 36 E

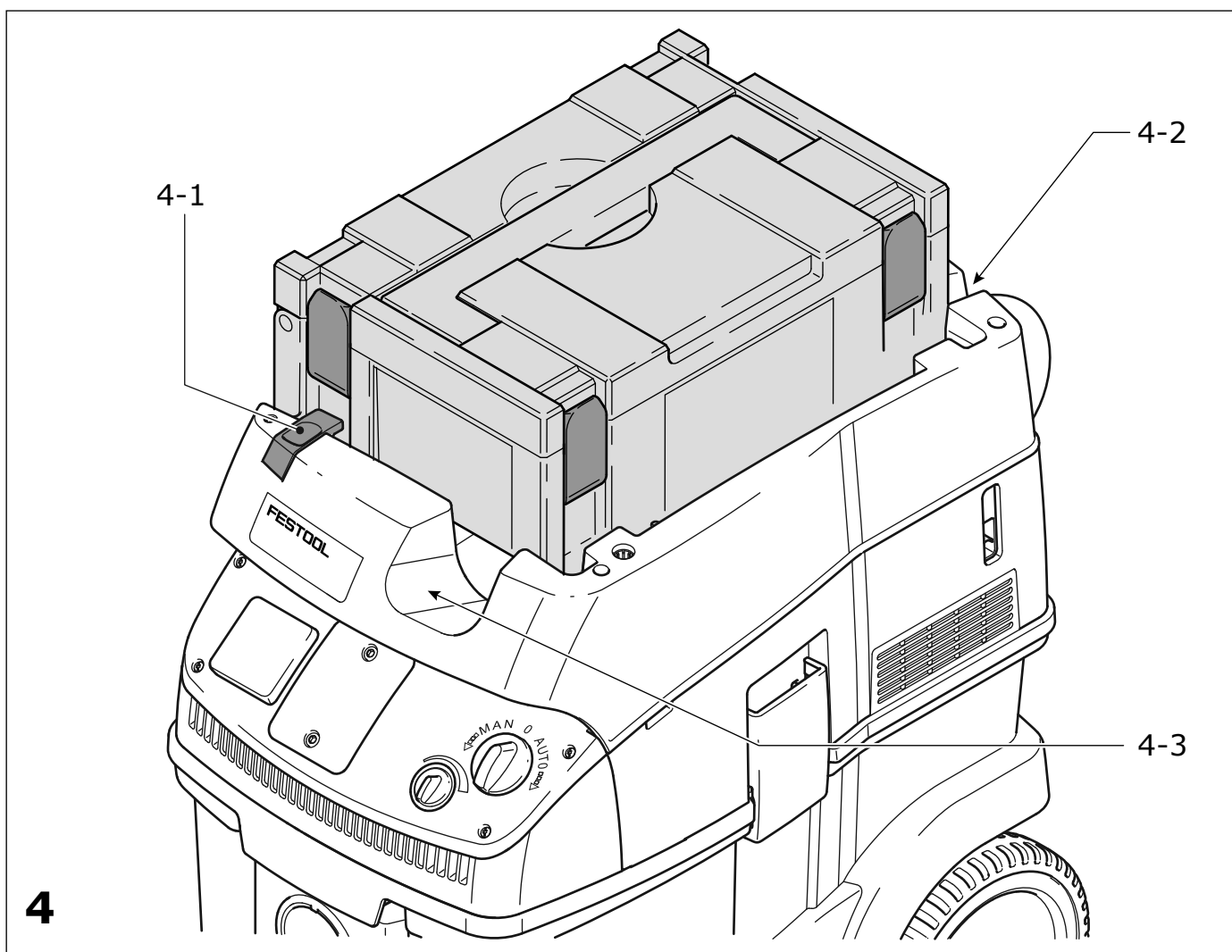
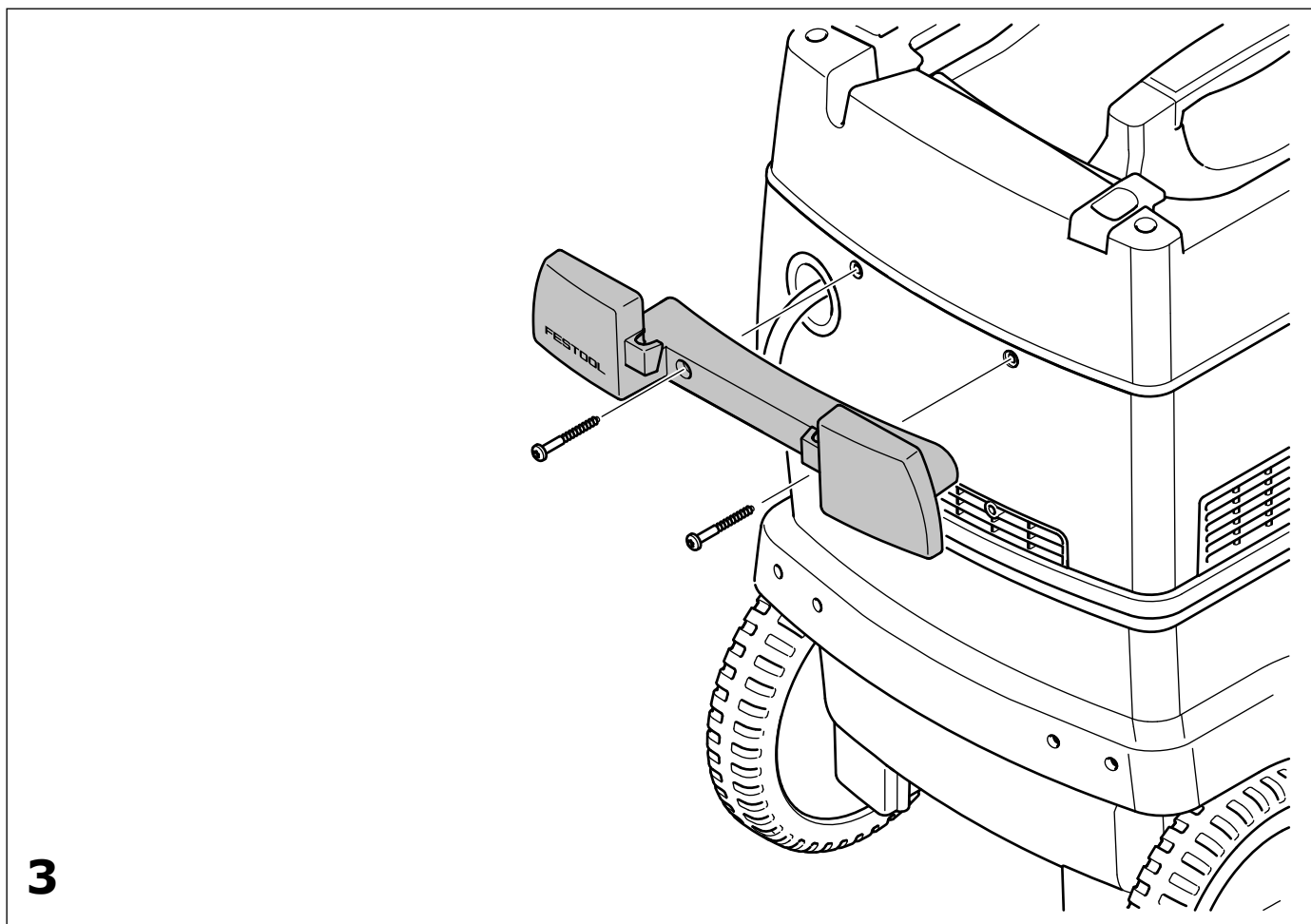


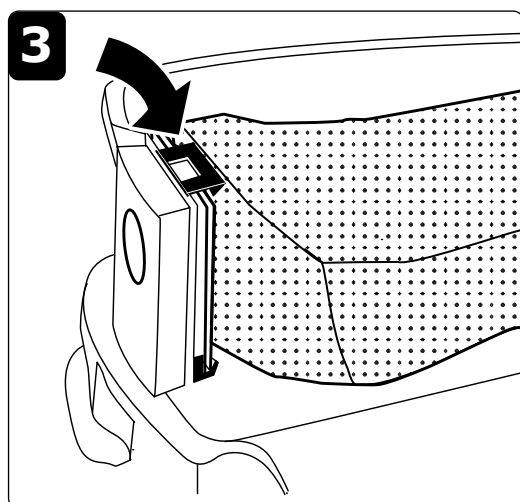
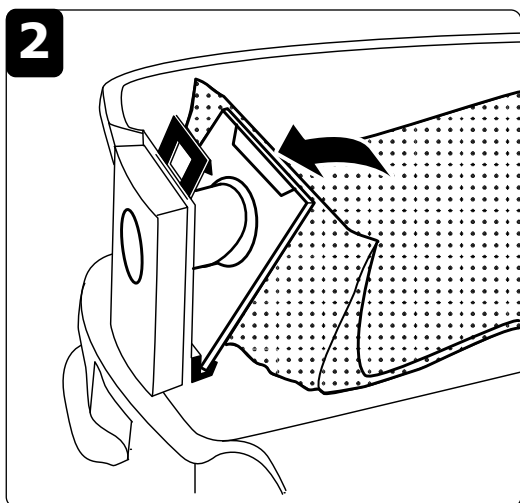
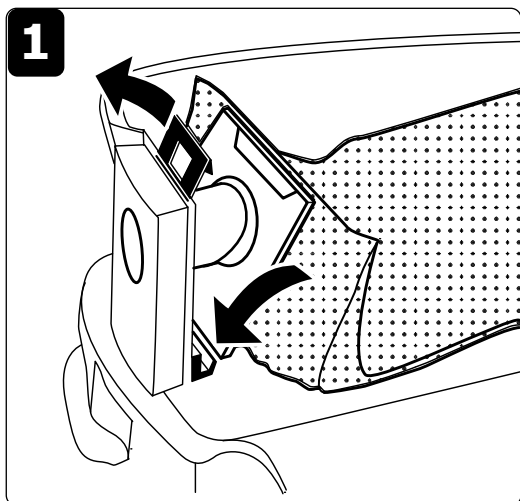
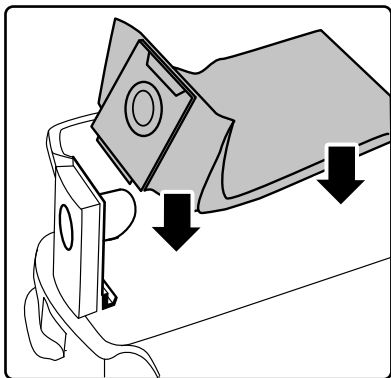
取扱説明書



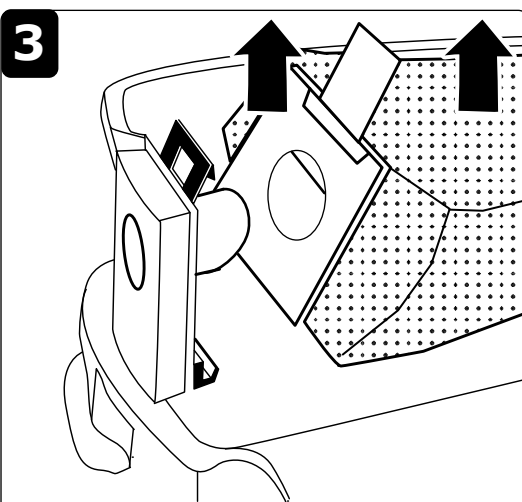
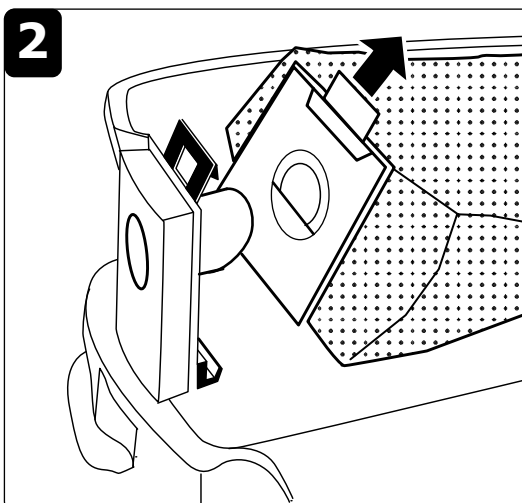
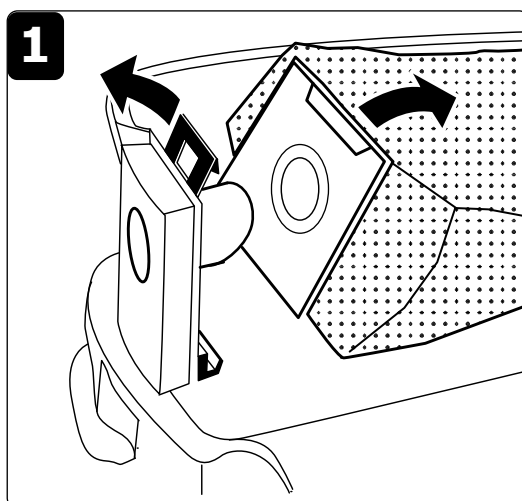
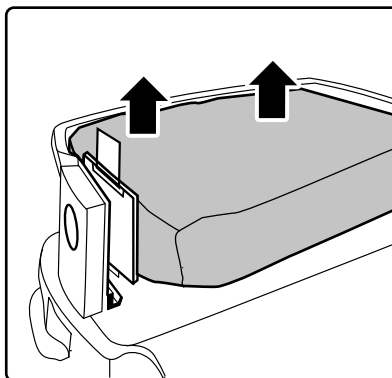
477 937\_003

**1****2**

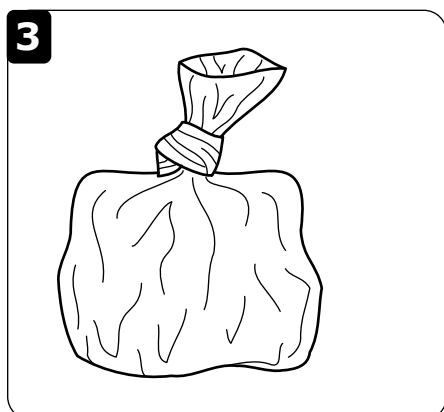
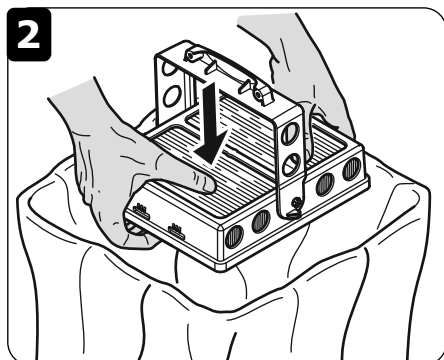
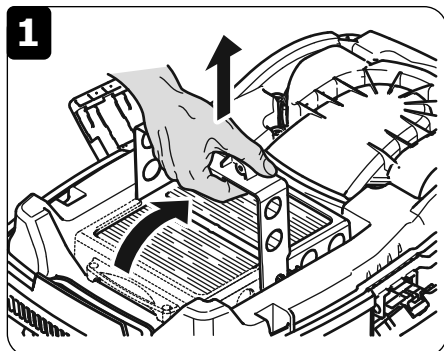
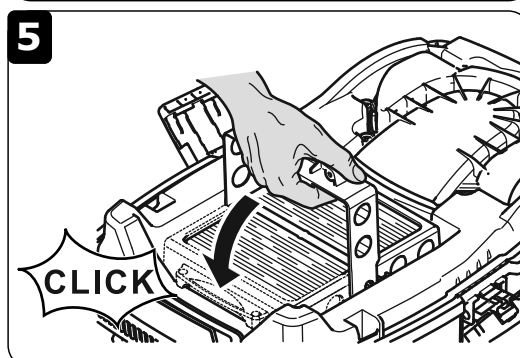
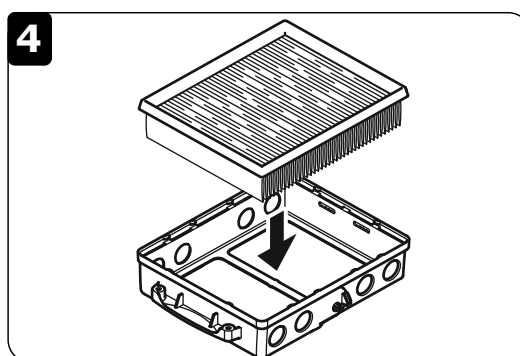
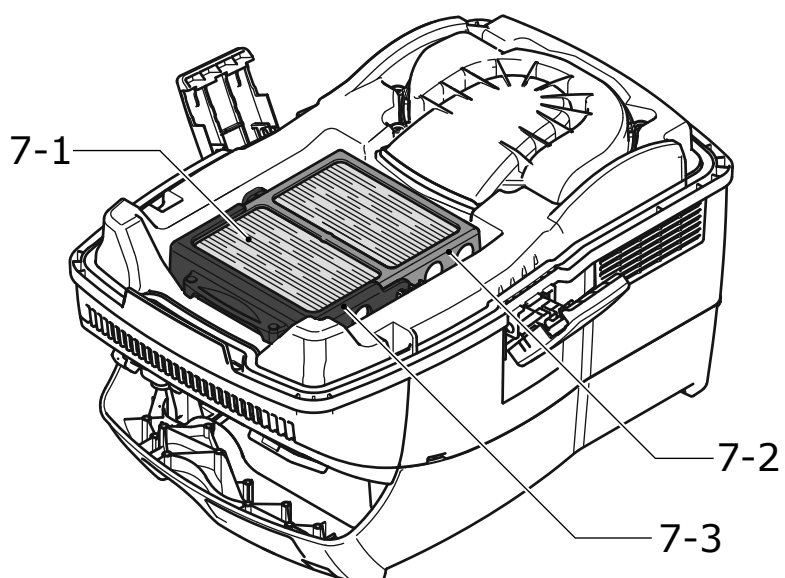




5

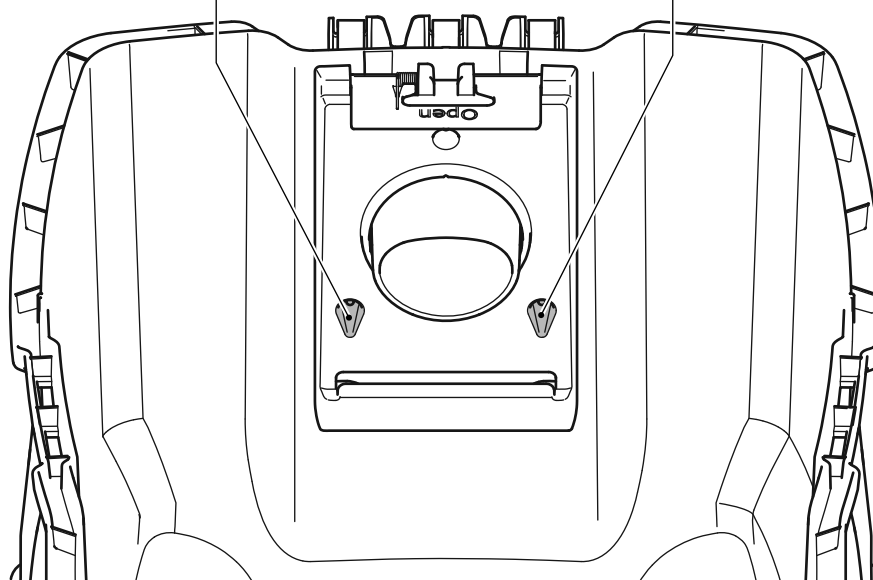


6

**7**

8-1

8-1

**8**

## 1 マークについて



警告



感電に注意してください。



取扱説明書をよくお読みください！



警告！本機は有害な粉じんを含む可能性があります！

寸法 (L x W x H)

CTL 26 E: 630 x 365 x 540 mm

CTL 36 E 630 x 365 x 596 mm

重量

CTL26E 13 kg

CTL36E 13.5 kg

\* 本機のコンセント部に規定値を超える電流が流れる場合、工具との「連動」はできません。工具のプラグを本機とは別のコンセントに接続してください。

## 2 各部の名称

- [1-1] 集塵口
- [1-2] モジュール取付口
- [1-3] 電動工具連動用ソケット
- [1-4] ホースケージ
- [1-5] ハンドル
- [1-6] Sysクリップ
- [1-7] 風量調整
- [1-8] スイッチ
- [1-9] ロッククリップ
- [1-10] 集塵コンテナ
- [1-12] ブレーキ

## 3 規定に準じた使用

この集塵機はIEC60335-2-69に準拠した「L」クラスの粉じんに対応し、最大許容濃度1mg/m<sup>3</sup>までの有害な粉じんを吸引できるように設計されています。

また、本機は水の吸引を行なえるように設計されています。

産業用集塵機としてIEC 60335-1とIEC 60335-2-69に準拠して仕様を定めています。



規定外の使用を行なった場合の損害・事故は使用者の責任となります。

## 4 技術データ

消費電力	350 - 1200 W
電動工具と接続時の最大負荷	1200 W *
最大吸込能力	234 m <sup>3</sup> /h
最大吸引力	24000 Pa
フィルター面積	3060 cm <sup>2</sup>
集塵ホース	D 27 mm x 3.5 m
騒音レベル DIN 60704-1に準拠	71 dB(A)
保護等級	IP X4
集塵容量	
CTL 26 E	26 l
CTL 36 E	36 l

## 5 安全基準の遵守


- **警告！安全注意事項と取扱説明書のすべてをよくお読みください。** 注意事項に従わない場合、感電、火災、重大なけがをまねく恐れがあります。
- **安全ガイドを大切に保管してください。** 他の人が使用する場合には、必ず本体とこれらの文書類を一緒に渡してください。
- 本機は良好な健康な状態と十分な経験と知識を持ってご使用ください。本機で遊ぶことは危険です、子供や作業員以外は作業場へ近づけないでください。
- **警告！集塵機内（コンテナ・フィルター・モーター内部）には健康を害する塵が混入している可能性があります。** 集塵物質の廃棄やフィルター交換・モーター等のメンテナンス作業は適切な防護対策をしてください。防塵マスクなどろ過システム無しでの作業は行ってはいけません。



- 有害な粉じんやナラ、ブナ材などの大きな木片を吸引するときは、電動工具またはエアーツールを1台のみで使用してください。
- **爆発や引火の危険：** 引火性・爆発性の粉じん（例：マグネシウム、アルミニウム）あるいは液体（例：石油、シンナー）の吸引には使用しないで下さい。また集塵機に使用されている素材を損傷する恐れのある液体（例：酸、アルカリ、溶剤）の吸引には使用しないで下さい。木屑などの一般粉じんは吸引できます。よく換気が行われている部屋で作業してください。（各国の安全規則に従ってください）
- 電源コードに損傷を与えないでください。（過度な運転や引っ張るなど）熱、油、あるいは尖った刃物などから遠ざけて下さい。電源コードを引っ張ってプラグを抜かないで下さい。

- ・電源コードとプラグの点検を定期的に行い、損傷があれば交換して下さい。交換は必ず専門家が行なって下さい。パーツリストに指定されている電源コードを交換して下さい。
- ・屋外に放置し、雨ざらしにしないで下さい。
- ・本機をご使用になる前に、本書を良くお読みになり、記載されている注意事項をお守り下さい。
- ・安全の為に、アース付きのソケットを使って、本機の操作をして下さい。
- ・指定された方法で本機のソケットを使用して下さい。
- ・アクセサリはフェスツール純正品をお使いください。
- ・メンテナンスを行う時は、必ずその前にプラグを主電源から抜いて下さい。
- ・クレーンなどで本機を吊り上げたり、搬送したりすることはお止め下さい。

## 6 使用方法


	<b>警告</b>
<b>適切でない電圧や周波数！</b>	
<b>事故によるリスク</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 本機の銘板に記載している電源の電圧、周波数をお確かめ下さい。</li> <li>▶ 北アメリカでは120 V/60 HzのFestool工具のみ使用可能です。</li> </ul>	

### 6.1 はじめの設定

- ▶ ロッククリップ [2-2]を開け、本機の上部パーツ [2-1]を外します。
- ▶ 集塵コンテナ[2-3]からアクセサリを外し取り付けます！
- ▶ 集塵コンテナにフィルターバッグを取り付ける。(項目 9.1を参照)
- ▶ 上部パーツ [2-1]を戻し、ロッククリップ[2-2]を閉める。
- ▶ 集塵機後方へケーブルホルダーを取り付けます。(図表[3]を参照)。
- ▶ 本機と集塵ホースを接続します。

### 6.2 on/offスイッチ [1-8]

- ▶ アースされたソケットにプラグを差し込みます。

	<b>警告</b>
<b>工具の不意な始動によるけがの危険</b>	

▶ スイッチを "AUTO"または "MAN"に設定する前に、接続している工具のスイッチがオフの状態にあることを必ず確認してください。

#### スイッチポジション "0"

このときソケット [1-3]もオフです。

#### スイッチポジション "MAN"


スイッチを入れるとただちに集塵を開始します。ソケット [1-3] はオフです。

#### スイッチポジション "Auto"

電動工具と集塵機を連動させる時には、このオートモードを選択します。工具をソケット[1-3]に接続すると、工具のオン、オフで集塵機の作動ができます。


## 7 設定

### 7.1 電動工具との連動について

	<b>警告</b>
<b>ケガのリスク</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 接続する工具によって集塵機の負荷が最大値を超えないようご注意ください。(技術データを参照)</li> <li>▶ プラグを接続するときや抜くときは、電動工具のスイッチがOFFになっていることを確認して下さい。</li> </ul>	

- ▶ ソケット [1-3] に電動工具を接続します。

### 7.2 エアー工具との連動について

	<b>警告</b>
<b>ケガのリスク</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ プラグを接続するときや抜くときは、エアー工具のスイッチがOFFになっていることを確認して下さい。</li> </ul>	

取付口 [1-2] にエアーモジュール(496141) を挿入すると、集塵機のオートスイッチ機能はエアー工具とも連動します。

適正な圧力でかつ調質されたエアーを供給する為のサービスユニットの使用をお勧めします。フェスツールのサービスユニットVE(495886)は集塵機に装着出来ます。フェスツールのエアー工具とIASシステムを接続する場合、専用の接続キット(454757)を使用します。

適正なオートスイッチ機能を保証するには、空気圧0.6MPaとして下さい。

### 7.3 風量の調整

風量の調整ダイヤル[1-7] で作業に適した吸引力を調整できます。

## 7.4 ブレーキ

ブレーキレバー[1-12]で集塵機を固定します。ラッチがかかるまでブレーキレバーを押し下げると集塵機の前方がゆっくりと上がり、ブレーキがかかります。レバー[1-11]を押すとブレーキは解除されます。

## 7.5 オーバーヒート対策

"極端な高負荷で長時間使用するとモーターが過熱（オーバーヒート）するおそれがあります。本機にはモーターの温度センサーが装備されており、モーターの焼付きを未然に防止します。

▶モーターの温度が許容限界を超えると、温度センサーが働いて自動的にモーターの回転を停止します。約5分程後、再び使用する事が出来ます。

① 万が一再度スイッチが入らない場合は、指定のサービス店へ連絡してください。



# 8 使用方法

## 8.1 収納方法

**ホースケージ：**使用後の集塵ホースは凹部[4-3]から通し、ホースケージに収納します。電源コードも同様に後部の凹部[4-2]から通し収納できます。

**システナーアタッチメントシステム：**システナーはホースケージに2つのクリップ[4-1]で固定し搭載できます。

## 8.2 粉じんの吸引

		<b>注意</b>
<b>有害な粉じん</b>		
<b>呼吸器官への損傷</b>		
▶ 有害な粉じんの吸引には、常にフィルターバッグを使用してください。		

電動工具を作動させて集塵機能を使用するには下記に従ってください：


室内に排気エアーを放出するなら、空気の循環が十分でなければいけません。放出された空気は新鮮な空気の50%を超えてはいけません。各国の規制に基づいて行ってください。

液体を吸引した後は、メインフィルターは湿気を帯びます。そのまま粉じんを吸引すると湿ったメインフィルターはよりダメージを受けます。この場合は、メインフィルターを乾燥させるか、乾燥したものに交換してください。

## 8.3 液体の吸引

液体を吸引する前に、フィルターバッグを取り外してください。（項目9.1"フィルターバッグを外す"を参照）

吸引した液体の量がコンテナ内で限度を超えると、センサーが作動して自動的に吸引を停止します。

	<b>注意</b>
<b>液体や泡がコンテナから漏れたら</b>	
▶ ただちにスイッチを停止し、集塵コンテナを空にしてください。	



## 8.4 帯電防止システム

使用されている素材もホースを含め、静電防止材が使われています。この静電防止システムを正しく働かせるためには、帯電防止ホースをのマーク（AS）がついたフェスツール純正アクセサリをお使い下さい。FESTOOLでは帯電防止ホースを標準品としています。

## 8.5 使用後

- ▶ 集塵機のスイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- ▶ 電源コードを巻いてください（2.6）。
- ▶ 汚れたコンテナを空にしてください。
- ▶ 集塵機を乾燥した安全な場所に格納してください。

# 9 保守および手入れ

		<b>警告</b>
<b>ケガや感電の危険</b>		
▶ 本体のいかなる作業をする前にも、必ず電源プラグを抜いておいてください。		
▶ モーターハウジングを開ける必要のある保守および修理作業はすべて、当社の認定したサービス工場にご用命ください。		

少なくとも年1回は作動テストをサービス店や技術者によって行ってください。このテストはフィルターが損傷なく機能しているか、本機は適切に保護されているか、性能のモニタリングは正常に作動しているかなどの確認も含まれます。

本機を修理やメンテナンスしている間、十分な働きをしていない構成部品は取り換えなければいけません。古い構成部品は不浸透性のポリ袋にいれて各地域の法令に従い処分してください。



損傷した安全装置や構成部品は認定されたサービス店で修理または交換してください。他の方法としては取扱説明書を参照してください。

## 9.1 フィルターバッグの交換

### フィルターバッグの取付け方

- ▶ ロッククリップ [2-2]を開け、本機の上部パーツ [2-1]を外します。
- ▶ 新しいフィルターバッグ (FIS-CT 26/36) (図表 [5]を参照)を挿入します。 重要: フィルターバッグソケットを取付口へしっかりと押してください。
- ▶ 上部パーツ [2-1]を戻し、ロッククリップ [2-2]を閉める。
- ① フィルターバッグが上部パーツと下部コンテナに挟まれていないことを確かめてください。

### フィルターバッグの外し方

- ▶ ロッククリップ [2-2]を開け、本機の上部パーツ [2-1]を外します。
- ▶ フィルターバッグを外す (図表「g. [6]を参照)
- ▶ 使用済みのフィルターバッグは、法令に従って廃棄して下さい。
- ▶ 集塵コンテナ [2-3]の掃除
- ▶ 新しいフィルタ - バッグを必要に応じて挿入します。(フィルターバッグの取付け方を参照ください)
- ▶ 上部パーツ [2-1]を戻し、ロッククリップ [2-2]を閉める。

## 9.2 フィルターエレメントの交換

	注意
<b>モーターの損傷</b>	
▶ モーターを損傷させるため、メインフィルターを装着しないで集塵機を使用しないでください。	

- ▶ ロッククリップ [2-2]を開け、本機の上部パーツ [2-1]を外します。
- ▶ 上部パーツを逆さにし、メインフィルター面を上向きにします。(図表 [7]を参照)
- ▶ レバー [7-3] を上げ、リテーナー [7-2]を外します。
- ▶ 使用済みのメインフィルター [7-1] を外し、新しいものに交換します。
- ▶ 使用済みのメインフィルターは、法令に従って廃棄して下さい。
- ▶ リテーナー [7-2] を挿入、レバー [7-3] しっかりと戻します。
- ▶ 上部パーツ [2-1]を戻し、ロッククリップ [2-2]を閉める。

## 9.3 コンテナのクリーニング

一度上部パーツを外し、集塵コンテナ [2-3] を空にします。

- ▶ 液体を集塵した後、センサー [8-1] を傷つけないよう、やわらかい布で定期的にきれいにしてください。

## 10 付属品および工具類

本体専用の Festool 付属品および Festool 消耗品のみを使用してください。これらはシステムの一部として相互に最適な条件を保つように設計されています。他社の付属品や消耗品を使用すると、十分な加工品質が得られないばかりでなく、保証範囲も狭くなる可能性があります。また使用状況によっては、本体の摩耗や作業者の肉体的負担が増すこともあります。純正 Festool 付属品および Festool 消耗品のみを使用することで、作業者自身、本体、保証条件のすべてを守ることができます。

アクセサリーとフィルターの注文番号

は、Festool カタログの中または [www.festool.com](http://www.festool.com) のインターネット上で見つけることができます。

### 10.1 モジュール

集塵機をアップグレードするために、モジュールをアクセサリーの中からお選びください。モジュールはモジュール取付口 [1-2] に取り付け、作業は指定のサービス店で行ってください。

- エアーモジュール
- 電源供給ソケットモジュール
- 他メーカーの機械からEAAのオートスイッチユニットを使用するためのエネルギーボックスモジュール (EAA)

付属品や工具の注文番号は Festool カタログ、およびウェブ サイト [www.festool.jp](http://www.festool.jp) に掲載されています。

## 11 処分について

**工具は家庭用ゴミとして廃棄しないでください!!**  
工具、アクセサリーや梱包材の廃棄は環境を考慮しリサイクルしてください。各国の法規を遵守してください。

## 12 保証

当社は本体の材質上または製造上の欠陥がないことを、各国法規に準じて、少なくとも 12 ヶ月保証します。別途定める「1+2保証」に申請していただきますと +24 ヶ月とします (請求書または納品書による証明が必要です)。##通常

の摩耗 / 消耗、過負荷、不適切な取り扱い、その他使用者の責に帰すべき原因による損傷、取扱説明書に反したその他の使用による損傷、あるいは購入時に知り得た損傷は保証の対象外とします。また純正ではない付属品または消耗品（サンディングパッドなど）を使用したことに起因する損傷も同じく保証の対象外とします。製品クレームは、本体を分解せず販売店または Festool 認定サービス工場に返送された場合の

み、認められます。取扱説明書、安全上の注意事項、予備部品リスト、購入関係書類は大切に保管してください。上記以外の点では、製造者による現行の保証条件が適用されます。

### 注記

ここに掲載したテクニカル データや仕様などは、進行中の研究開発により変更されることがありますのでご了承下さい。



